

～東北・北関東の特産が目白押し！～

再エネ連携自治体交流物産展を開催します！



横浜市は、2050年までの脱炭素化の実現に向けて再生可能エネルギー(以下「再エネ」という。)の普及拡大に取り組んでおり、これまでに再エネ資源を豊富に有する市町村と連携協定を締結しています。このたび、横浜市と連携協定を締結している自治体を身近に感じていただける交流物産展を開催します。

東北・北関東の特産に一度に出会える貴重な機会ですので、ぜひみなさまお越しください！

1 再エネ連携自治体交流物産展について

日時:令和7年3月13日(木) 13:00~18:00

14日(金) 10:00~17:00

場所:横浜市役所1階 アトリウム (横浜市中区本町6-50-10)

内容:特産品販売、観光PR

参加自治体:

青森県 横浜町

岩手県 久慈市、葛巻町、普代村※、軽米町、
野田村※、九戸村、洋野町、一戸町

※13日のみ参加

秋田県 八峰町

福島県 いわき市

茨城県 神栖市

主催:横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
カーボンニュートラル事業推進課



左上:野田村 ドリップバッグコーヒー 中央上:一戸町 くるみもなか 右上:葛巻町 岩手くずまきワイン
左下:いわき市 ハワイアンカレーせんべい 中央下:九戸村 あま茶リーフ 右下:神栖市の野菜

2 再エネに関する連携協定について

横浜市の再エネの創出ポテンシャルは2050年の市内の電力消費量の約10%と試算され、再エネへ転換するためには、市域外からの供給が必要不可欠です。2050年までの脱炭素社会の実現に向け、再エネ資源を豊富に有する17市町村と、再エネの創出・導入・利用拡大、相互の地域活力の創出等の分野において連携協定を締結しています。



お問い合わせ先

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局カーボンニュートラル事業推進課長 松下 功 Tel 045-671-2636



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷





横浜市は連携自治体とともに
脱炭素社会の実現を目指します

別紙



再エネ連携自治体交流

物産展

3/13 (木) . 14 (金)

13:00~18:00

10:00~17:00

横浜市役所 1階 アトリウム

参加自治体

- ・青森県 横浜町
- ・岩手県 久慈市、葛巻町、普代村（13日のみ）、
軽米町、野田村（13日のみ）、九戸村、
洋野町、一戸町
- ・秋田県 八峰町
- ・福島県 いわき市
- ・茨城県 神栖市



※画像はイメージです。実際の商品とは異なる場合があります